

私立保育園、障害者通所施設、特別養護老人ホーム、私立幼稚園への  
「震災・電力・放射能対策に関するアンケート」の結果について

2011年7月13日  
日本共産党東京都議会議員団

## 調査の概要

調査の目的：3・11の大震災、原発事故による電力不足と放射能汚染により、都内の子ども・障害者・高齢者の施設等がうけた影響と都への要望、都政が緊急にとりくむべき課題を把握すること。

調査の方法：都内の2,181施設にアンケート用紙を郵送。FAX、メールで回答を返送してもらいました。

私立保育園（617施設） 障害者通所施設（410施設）  
私立幼稚園（814施設） 特別養護老人ホーム（340施設）

調査期間：6月1日～17日

回答数：152施設から回答がありました（回答率7.0%）。

私立保育園 36施設（5.8%） 障害者通所施設 51施設（12.4%）  
私立幼稚園 30施設（3.7%） 特別養護老人ホーム 35施設（10.3%）

\*回答者の多くは園長・施設長・所長等です（75人）。その他の回答者は、副園長、事務長、部課長、主任など。（回答者の肩書きが記入されているのは114人）

\*私立保育園、障害者通所施設、特別養護老人ホームの多くは民設民営ですが、一部に公設民営や指定管理者が含まれています。また障害者通所施設には、公設公営も一部に含まれています。

アンケートの内容：各施設の現状や課題、要望を具体的に把握するため、回答はすべて、以下の質問に対する記述式の自由回答としました。（従って「調査結果」で数値化したものは、記述された内容から日本共産党都議団の判断で分類したものです。）

### 1、震災対策について

3月11日の大震災への対応で起きた問題、困ったことがあればご記入ください。

[建物や施設・設備について被害があれば、その状況をご記入ください]

東京で大震災が起きた場合への対策として、施設設備の耐震補強、食料等の備蓄、保護者への対応、職員体制などについて、貴施設としてとくに重要な課題や、東京都・行政へのご意見・要望をご記入ください。

### 2、電力対策について

政府が示している15%節電について、困っていることなどがあればご記入ください。

節電対策および太陽光発電の促進など電力対策について、東京都・行政へのご意見・要望が

あればご記入ください。

### 3、放射能対策について

放射能への対応として、具体的に実施している対策や、困っていることなどがあればご記入ください。

放射能対策について、東京都・行政へのご意見・要望があればご記入ください。

## 調査結果

### 1、震災対策について

(1) 3・11当日は保護者との連絡不能や帰宅困難で大混乱となった実態がうきばりに  
私立保育園・障害者通所施設の7割が、保護者との連絡困難、お迎え等の混乱を指摘  
私立保育園と障害者通所施設では7割が、保護者との連絡がとれなかった、お迎え、送迎、利用者の帰宅が遅くなったと回答しています。

#### 保護者との連絡、お迎え・送迎の混乱を指摘した施設数

私立保育園	25施設(69.4%)	障害者通所施設	39施設(76.5%)
私立幼稚園	15施設(50.0%)	特別養護老人ホーム	8施設(22.9%)

#### (私立保育園)

- \* 「保護者との連絡がとれず、お迎えの状況がつかめず困った」
- \* 「徒歩でお迎えに来る保護者が多く、深夜、明け方のお迎えになった方も数名いた」
- \* 「午前3時にお迎えに来た保護者が最後となった」
- \* 「夜9時になっても、0～2歳児が14名も残っていた」
- \* 「子どもの迎えが最終は午後11時をすぎ、数名の職員が残り対応した」
- \* 「お迎えの遅くなる子、またお迎えの保護者への炊き出しをした」
- \* ほか、お迎えの最終時間は「午前2時」「夜12時頃」「夜9時40分頃」など

#### (障害者通所施設)

- \* 「保護者との連絡がとれず、帰宅できない利用者が数名いた(施設に緊急宿泊した)」
- \* 「家族との連絡ができないため、帰宅方法等の確認ができなかった」
- \* 「交通機関を利用している通所者が帰れなくなり、同じく帰れない職員と作業所で夜を明かした」
- \* 「送迎バスが遅れ、家族との連絡が不通になり、しばらく混乱した」
- \* 「利用者宅マンションのエレベーターが動かず、車イスの方が帰宅できなかった」
- \* 「相談事業所なのに電話が繋がらない」

#### (特別養護老人ホーム)

- \* 「通所利用者については、送り届ける際、家族がいるか、1人暮らしか、日中1人暮らし

しか、家族が何時頃帰るか これらの確認がとれず、利用者を自宅に送り届けることができず苦慮した」

- \* 「デイサービス利用者も帰宅困難者となった」
- \* 「ショートステイ利用者の送迎が、道路の混雑でできなかった」

(私立幼稚園)

- \* 「預かり保育の保護者との連絡が不通で困りました」
- \* 「数名の園児の保護者が迎えに来られず、午後11時すぎまで預かりました」
- \* ほか、最終のお迎え時間は「夜8時以降」「19時ごろ」「夜間になった」など
- \* 「園に子どもは残っていませんでしたが、帰宅途中に震災があり、保護者・園児の安否がわからず心配した」

職員の帰宅・出勤困難、職員体制確保が大きな課題に

職員が帰宅できなくなり、施設に泊まったなどのケースも多く報告されています。また、特別養護老人ホームでは、3月11日の夜勤の職員体制確保に困難が生じたことがうかがえます。

(私立保育園)

- \* 「翌日が土曜日だったため保育する子どもが少なかったが、平日では通勤できない職員もいたため人員が少なく、保育できる状態ではなかったと思う」
- \* 「3月11日は帰宅できない職員が何人か保育園に泊まりました」
- \* 「職員の寝具などの用意がなかったので、今後、寝袋などの購入を考えている」

(障害者通所施設)

- \* 「職員が宿泊した際、食料の調達が困難だった、毛布しかなかったので寒かった」
- \* 「震災後しばらくは、職員が定時に出勤することが難しかった」

(特別養護老人ホーム)

- \* 困ったこととして「交通機関不通による通勤困難職員の代替職員の確保」
- \* 「都内の交通機関もストップしたため、夜勤者が通勤できなかった」
- \* 「交代勤務職員の確保が困難となり、近所の職員で勤務調整した」

(私立幼稚園)

- \* 「職員の交通の便が確保できず、1週間ほど泊まり込む」
- \* 困ったこととして「教職員の通勤帰路の確保」

地震によるエレベーター停止、計画停電やガソリン不足の影響も

障害者通所施設や特別養護老人ホームでは、地震によるエレベーター停止で、車イス利用者の移動や給食の配膳に支障が生じています。計画停電やガソリン不足の影響についての回答も多く寄せられています。障害者通所施設では、授産事業への影響も生じています。

(私立保育園)

- \* 「停電のため給食づくりが困難になり、メニューの変更等を行った」

( 障害者通所施設 )

- \* 「エレベーターの復旧が夜 10 時頃になってしまい、2 階居住の車イスの人たちを人手で上げた」
- \* 「計画停電のため臨時休業や利用者の利用時間の短縮をしなければならなかった」
- \* 「食材の一部が入手しづらくなり、給食メニューを一部変更した」
- \* 「ガソリン不足で、送迎ができなくなった」
- \* 「授産(生産)活動で、材料等が入手しづらくなっていることや受注控えや中止などで、売上高が 7 ~ 8 割程度まで下がっている状況が続いており、経営に大きく影響している」

( 特別養護老人ホーム )

- \* 「エレベーターが停止し、利用者の昇降が一時できなくなった」
- \* 「エレベーターがストップし、入居者の方の食事の配膳に時間がかかった」
- \* 「計画停電ではかなり影響あり。とくに夜間は職員を増員して対応したが、ナースコールが使用不可のためリスク大。非常用照明のバッテリー切れで転倒者が出た」
- \* 「停電により移乗用リフト、入浴用リフトなど福祉機器が使えず人力で行う」
- \* 「ガソリン不足のため数日、デイサービスを休止」

( 私立幼稚園 )

- \* 「すぐに停電してしまったので、どういう地震なのか被害の状況などがつかめなかった」
- \* 「園を閉鎖するかどうかの判断が難しかった」

( 2 ) 施設・設備のさまざまな被害も発生している

「建物や施設・設備についての被害状況」について具体的回答があったのは、51 施設 ( 33 . 6 % ) です。大きな被害の報告はありませんが、施設の老朽化や耐震への不安を表明する回答もありました。

「建物や施設・設備についての被害状況」について具体的回答があった施設			
私立保育園	13 施設 ( 36.1% )	障害者通所施設	18 施設 ( 35.3% )
私立幼稚園	8 施設 ( 26.7% )	特別養護老人ホーム	12 施設 ( 34.3% )

( 私立保育園 )

- \* 「2 階屋根部分のコンクリートが落ちた。もともと老朽化で爆裂 ( コンクリートのひび割れ ) がある」( 公立の民営化園 )
- \* 「玄関正面の 2 階四方の大きなガラスが割れた」
- \* 「耐震検査でひっかかっているのに、崩壊するのではないかと心配だった」
- \* その他、「床にヒビ」、「施設内の壁にヒビ ( 複数箇所 ) 」など

( 障害者通所施設 )

- \* 「エレベーター 2 基中 2 基、震災直後に停止し、復旧は翌日となった」
- \* 「柱の亀裂が増加した」「施設の外壁 2 ヶ所にヒビ割れがあった」
- \* 「耐震用の突っ張り棒をつけていたにもかかわらず、棚が 1 台転倒した」

(特別養護老人ホーム)

- \* 「防火ドアのゆがみや開閉不備」
- \* 「築後35年、増築を重ねており耐震に不安を感じた」
- \* 「壁面隆起により開閉扉が閉まりづらくなった」
- \* 「エレベーターが2基とも停止し、配膳車や車椅子の他階移動ができなくなった」

(私立幼稚園)

- \* 「体育館の床の変形。地下の移動(川沿い)」
- \* 「地割れ、非常灯の落下」

(3) 備蓄、保護者との連絡方法、耐震補強などが切実な課題になっている

東京で大震災が起きた場合の対応としてとくに重要な課題や東京都・行政への要望について、以下のような事項について回答がありました。

備蓄.....	81施設 (53.3%)		
私立保育園	16施設 (44.4%)	障害者通所施設	30施設 (58.8%)
私立幼稚園	17施設 (56.7%)	特別養護老人ホーム	18施設 (51.4%)
耐震強化、津波対策.....	39施設 (25.7%)		
私立保育園	15施設 (41.7%)	障害者通所施設	13施設 (25.5%)
私立幼稚園	9施設 (30.0%)	特別養護老人ホーム	2施設 (5.7%)
職員の確保.....	36施設 (23.7%)		
私立保育園	8施設 (22.2%)	障害者通所施設	11施設 (21.6%)
私立幼稚園	3施設 (10.0%)	特別養護老人ホーム	14施設 (40.0%)
保護者等との連絡.....	26施設 (17.1%)		
私立保育園	8施設 (22.2%)	障害者通所施設	13施設 (25.5%)
私立幼稚園	3施設 (10.0%)	特別養護老人ホーム	2施設 (5.7%)
ガイドライン、マニュアル等の整備.....	14施設 (9.2%)		
私立保育園	7施設 (19.4%)	障害者通所施設	2施設 (3.9%)
私立幼稚園	2施設 (6.7%)	特別養護老人ホーム	3施設 (8.6%)
電源の確保.....	15施設 (9.9%)		
私立保育園	5施設 (13.9%)	障害者通所施設	4施設 (7.8%)
私立幼稚園	0施設 (0%)	特別養護老人ホーム	6施設 (17.1%)
その他.....	55施設 (36.2%)		
私立保育園	11施設 (30.6%)	障害者通所施設	15施設 (29.4%)
私立幼稚園	13施設 (43.3%)	特別養護老人ホーム	16施設 (45.7%)

## 備蓄

通所施設は備蓄についての規定がない、入所施設についても利用者の備蓄はあるが職員や地域から避難してくる人の分はない、3日分の備蓄では足りない、備蓄を充実させるにも保管場所がない、購入費への補助がほしい、などの声がよせられました。

### (私立保育園)

- \* 「食料・水の備蓄がもっと必要だと思うが、保管場所がないので困っている」
- \* 「備蓄をしているが3日分のみ。今回のような規模の災害を考えると十分ではない。災害時の保育所の使命に対応するためには、基準および補助があるとよい」

### (障害者通所施設)

- \* 「食料等の備蓄について、通所施設についてはとくにしぼりはないが、今回のように帰宅困難となった時に、課題となってくるのではないか」
- \* 「狭さ、古さでおそらくは十分な対応は現実にはできない。備蓄も保管場所の確保ができない」
- \* 「食料・水などの備蓄はありません。当所は区の二次避難所になっているにもかかわらず、このような状態です」
- \* 「費用補助をしていただくか、民間で調達すると割高になるので行政で一括して購入してそれを子どもが購入する、といった方法がとれないものか」
- \* 「利用者が日常服用している薬は3日分を確保しているが、それ以降の入手方法がなく、困難を抱えてしまう」

### (特別養護老人ホーム)

- \* 「特養利用者用食料は備蓄があるが、デイサービス利用者、職員用はなく、大規模停電や災害の際の課題 ただし費用や保管の問題がある。医薬品や介護用品についても同様」
- \* 「地域の要援護者の方などを定員超にして受け入れることになるはずであり、その場合を想定した取り組みが必要。特養ホームは『地域の防災拠点』としての機能を求められている」
- \* 「食糧備蓄用の補助」
- \* 「食料備蓄の財政的支援を望みます」

### (私立幼稚園)

- \* 「食糧備蓄(保管場所をふくめ)のための補助金がほしい」
- \* 「アレルギーを持つ園児の非常食も確保する必要性を感じた」

## 耐震強化、津波対策

施設の老朽化や耐震への不安の声や、耐震助成の充実を求める声も多くよせられました。都営住宅の1階にある施設から、都の責任で早急に耐震化を進めるよう求める要望も複数ありました。

### (私立保育園)

- \* 「都営住宅の1階にある保育園です。2年前に都が耐震診断をしたにもかかわらず、そ

の結果が現在も知らされていない。耐震工事をする場合、按分で工事費を負担するようにとの話があった。都営住宅の場合、全面的に都が行ってほしい。早く工事にとりかかってほしい」

- \* 「海拔0メートル地帯のため津波が心配。近隣のビル・マンションはセキュリティがしっかりしているため外階段も入れるところが少なく、避難場所がない」
- \* 「建物の耐震性が十分ではないので、区からの補助金を数年前から待っている状態。早急に対応してほしい」

(障害者通所施設)

- \* 「築50年が経っており、耐震が不安」
- \* 「倒壊、半壊のおそれがあります」
- \* 「都営住宅の下に施設があります。耐震性の確認が必要です」
- \* 「耐震診断で倒壊する可能性が高いという結果が出たが家主が補強工事をしてくれない」
- \* 「耐震補強はやりたいが資金不足」
- \* 「近隣の河川が氾濫した場合、1階部分が水没すると言われている」

(特別養護老人ホーム)

- \* 「建物は老朽化しており、耐震化の補助申請中。しかし補助金は一部であり、自己資金をほとんどつぎ込むことになる」

(私立幼稚園)

- \* 「耐震診断およびその後の耐震補強に莫大な費用が予想される 補助金の増額を要望」
- \* 「耐震補強など、公立私立および施設の種類に関係なく補助を充実させてほしい」
- \* 「個人園に対しての耐震対策の補助金を上げてほしい」
- \* 「ゼロメートル地帯で津波の場合避難を考えなければなりません、現実にまわりにある建物はオートロックのマンションです」

職員の確保

(私立保育園)

- \* 「職員体制については現行基準を絶対に引き下げないでほしい」

(障害者通所施設)

- \* 「法定職員数では少なすぎるため、平常時でさえ支援体制に無理が生じているうえ、緊急時の対応には限界が生じる」

(特別養護老人ホーム)

- \* 「発災後の職員配置に不安があります」
- \* 「職員も被災者となるわけですから、近県、他県との協定などで体制をつくっておく必要があるのではないのでしょうか」

(私立幼稚園)

- \* 「職員の出勤可能者がどの程度いるかにより、保育できるかどうか心配」

## 保護者等との連絡

公的な防災無線のような設備を私立施設にも設置してほしい、保護者との安否確認ができるシステムが必要、などの声がよせられています。

### (私立保育園)

- \* 「(保護者と)安否確認のできるシステムの必要を感じた」
- \* 「行政無線は何の機能もしなかった。緊急時、何らかの方法で外部との連絡がとれるものが必要」

### (障害者通所施設)

- \* 「確実な通信手段が必要ではないか」「通信が寸断されることをどう解決するかが課題」
- \* 「保護者への連絡は、今回でも分かるように電話が活用できない。メールの方が望ましいが、高齢の保護者にはメールの連絡は難しい」

### (私立幼稚園)

- \* 「特に大きな課題は、緊急携帯メールが通じなくなった場合、保護者との連絡をどうするか、ということ」

## ガイドライン、マニュアル等の整備

施設としての震災時のマニュアル整備の必要性にとどまらず、国や行政が大震災時の休園の基準等についてガイドラインを定めるよう求める意見もよせられています。

### (私立保育園)

- \* 「震災が起きた場合、保育園の運営はどのようにすべきなのか、目安が知りたい」
- \* 「震災時の開園基準がない」
- \* 「都、区に対して、公立、私立ともに乳幼児を守るために、災害時の施設としてのガイドラインを作ってほしい(備蓄に対する基準等も同様)」

### (障害者通所施設)

- \* 「通所型事業所の大震災対応のガイドラインを調べたが、見つけることができなかった。自主的に制作し始めているが、行政や公的機関でガイドラインを示してもらえるとありがたい」

### (特別養護老人ホーム)

- \* 課題として「被災者受け入れ施設となった場合の指針(衛生管理等)」

## 電源の確保

### (私立保育園)

- \* 「自家発電装置の設置に関する補助を考えていただきたい」

### (障害者通所施設)

- \* 「非常用電源はあるようですが、数時間しかもたない」
- \* 「非常電源がないため、停電時は電化製品は全く使えない」

(特別養護老人ホーム)

- \* 「停電時の命の綱は自家発電だが、その燃料が手に入らなかった。福祉施設の場合は最低確保できるよう石油業界への働きかけをしてほしい」
- \* 「エレベーターほか電気が使えない状態になった場合の自家発電の装置が必要」

その他

(私立保育園)

- \* 「帰宅困難者のための対策はしっかり行ってもらいたい」
- \* 「小さな乳児を30分ほどかかる避難場所の大きな公園に連れて行くのは不可能だと思います」
- \* 「公私の区別なく、災害直後の対応を同じに責任をもって対応してほしい」

(障害者通所施設)

- \* 「行政にはとくに障害者や高齢者がいる場合には、その特殊性を理解して、避難場所は一般の人と別のところを確保してもらいたい」
- \* 「利用者が日常服用している薬は3日分を確保しているが、それ以降の入手方法がなく、困難を抱えてしまう。地域の薬剤師会や都立病院と協定を結びたいが、ハードルが高く、現在まで結ばれていない」
- \* 「在宅中の利用者の安否確認はどうしたらいいのか？どこに情報が集まるのか知りたい」

(特別養護老人ホーム)

- \* (課題として) 「地域の要介護者が避難してきた場合の受け入れ体制(職員、居住空間など)」
- \* 「在宅高齢者受け入れに対する簡易設備等の整備、備蓄」
- \* 「入居利用者の状態の急変時、適切な対応が可能かどうか」
- \* 「救急体制の確保」
- \* 「医療体制をどのようにするのか」

(私立幼稚園)

- \* 「保護者の園児引き取りの場合の交通の確保」
- \* 「私立幼稚園も被災者を受入れるような事態が考えられるが、どこまで対応できるかわからない」

## 2、電力対策について

(1) 節電について、子ども・障害者・高齢者への配慮を求める声が多数寄せられた

(私立保育園)

- \* 「乳児を保育する園としては夏場、冬場のエアコン使用は欠かせないので困っている」
- \* 「すでに可能な限りの節電をしているので、これ以上の節電は無理」

( 障害者通所施設 )

- \* 「障害者自室支援法の施行以来、経費削減の理由から、すでに節電には取り組んでいる」
- \* 「知的障害者、自閉症の方が利用する施設のため、節電による環境変化に対応できないおそれがある」

( 特別養護老人ホーム )

- \* 「高齢弱者の生活施設であることから、冷房なしでは猛暑に耐えられないのではないかと」
- \* 「どこをどうすれば15%の節電になるのか分からない」

( 私立幼稚園 )

- \* 「体温調節が難しい年齢です。酷暑の夏であれば、節電は大変難しく、心配です」
- \* 「クーラーがないのでこれ以上の節電は厳しい」

( 2 ) 43%の施設が太陽光パネル設置等への支援を求めている

「節電対策および太陽光発電の促進など電力対策について、都・行政への意見・要望」への回答で、最も多かったのが太陽光パネル設置等への支援でした。43%の施設が、太陽光発電の推進を表明し、設置費補助などの支援を求めています。ほかに、節電設備への補助、計画停電や原発への意見等が、よせられています。

太陽光パネル設置等への支援を求めている施設... 66施設 (43.4%)			
私立保育園	16施設 (44.4%)	障害者通所施設	18施設 (35.3%)
私立幼稚園	16施設 (53.3%)	特別養護老人ホーム	16施設 (45.7%)

( 私立保育園 )

- \* 「園の屋上はたっぷり日が当たります。ここにソーラーパネルを敷き詰めることができれば、クーラーの分ぐらいは自家発電できるのではないかと。そのための補助金がほしい」
- \* 「節電のための電化製品 (省エネタイプ) の付け替えなどに対して積極的な補助をしてほしい」
- \* 緑のカーテンの取り組みも一般家庭をまきこんで行ってほしい。

( 障害者通所施設 )

- \* 「太陽光発電については屋上などを使い、積極的に進めたい」
- \* 「蛍光灯のLED化や太陽光発電など、初期費用の高額なものについては、補助があるとありがたい」

( 特別養護老人ホーム )

- \* 「節電は賛成だが、何にどれぐらいの電力を使用しており、何を優先して節電するかの情報が乏しいと感じる」
- \* 「太陽光発電はぜひ全額行政負担で実現してほしい」
- \* 「高齢者入所施設屋上の利用が可能と考える。補助事業として促進を願いたい」
- \* 「資金的な問題で積極的な節電対策ができない。補助金や無利子融資などの対応を要望

します（照明のLED化、冷温水ポンプのインバーター化、同空調コントロールユニットのオート化、熱源の保温化、ガラスの遮光フィルム装着、その他で想定500～700万円）」

\* 「大幅な節電には若干の設備投資が必要。助成などを考えていただきたい」

（私立幼稚園）

\* 「太陽光の設置の料金を下げてくれるか、補助をしてほしい」

\* 「屋根が広いので、太陽光発電など取り入れたい。その場合、補助金を出してほしい」

\* 「太陽光発電は、補助がもっとあればやりたいと思っている」

### 3、放射能対策について

放射能対策については、私立保育園、私立幼稚園から、多くの回答があり、高い関心と多くの不安の声が寄せられました。

（1）保護者の不安がひろがり、外遊び減少などの影響も生じている

保護者の不安がひろがっており、私立保育園、私立幼稚園の半数が、何らかの対応を実施しており、泥んこ遊びをやめた、戸外遊びの時間短縮、園庭の利用減など、さまざまな影響が生じています。自主的に測定をしている、との回答もありました。

#### 放射能への対応を実施している施設

私立保育園	19施設（52.8%）	障害者通所施設	3施設（5.9%）
私立幼稚園	15施設（50.0%）	特別養護老人ホーム	2施設（5.7%）

（私立保育園）

\* 「泥んこ遊びをやめました。食材の産地を選んでいきます。どうしても不安だというご家庭からは飲み水を持ってきてもらい、除去する食材の代替品を受け付けています」

\* 「戸外遊びは1日40分を目安に切り上げている。給食関連では、保護者の要望もあり、野菜等の産地の掲示を毎日している」

\* 「浄水器を入れた（70万円）」

\* 「公園（散歩）、園庭（芝生、砂場）、グラウンド（サッカー、運動会）の線量調査が未実施のため、利用頻度が極端に落ちている」

\* 「散歩へ行く時間（外に出る時間）を制限しています」

（私立幼稚園）

\* 「各自水筒持参」

\* 「放射能測定器（ドイツより輸入したもの）で2回測定」

\* 「園庭を簡易線量計で測っている。表土を2cm削った」

\* 「給食に使われている食材を心配する一部の家庭で、手作り弁当を持参している」

( 2 ) 測定の強化、正確な情報を求める声が多数よせられた

私立保育園 44%、私立幼稚園 43%から、放射線測定の強化を求める回答がありました。また、正確な情報提供を要望する声も多数よせられています。

放射線測定の強化を求めている施設

私立保育園	16施設(44.4%)	障害者通所施設	5施設(9.8%)
私立幼稚園	13施設(43.3%)	特別養護老人ホーム	5施設(14.3%)

( 私立保育園 )

- \* 「測定器を各園に配布するなどして、日常的に数値を把握できるようにしてほしい」
- \* 「園庭、砂場などの測定と同時に、どのような対策をとればよいかの具体策も知らせてほしい」
- \* 「子どもを預かる施設には放射線の測定器を設置してほしい」

( 私立幼稚園 )

- \* 「測定器具を各園に配布してほしい」
- \* 「確実な数値を測れる機械の無料貸し出しを求めます」
- \* 「正確な情報を伝えていただきたい」
- \* 「数値を出す場合、対応も出してほしい」

以 上